

帯広病院 21-4111
 柳町医院 30-3111
 白樺医院 38-3500
 ケアセンター白樺 41-1165

十勝勤医協 友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会

帯広市西9条南11丁目1番地

0155-21-4718

発行責任者 今野 光昭

URL: <http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp>
 E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

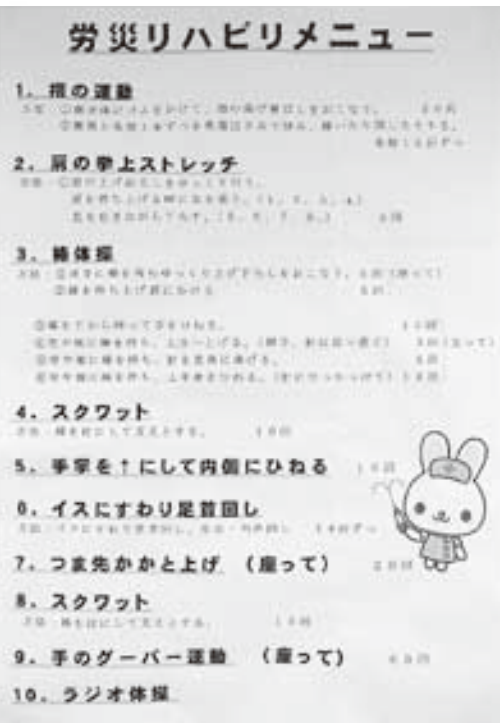
帯広病院では、4月1日から振動病患者さんの診療を開始しています。今まで柳町医院と白樺医院に通われていた20名の患者さんが治療のために毎日のように通院されています。3月には、振動病患者さんを受け入れるために理学療養室をつくりました。そして、3月27日に、深町院長が講師となつて労災学習会を行いました。主に振動障害の定義や検査判定基準、検査方法等をスライドを使ってわかりやすく説明していただきました。また、労災申請の認定については少なくとも半年、場合によっては1年以上を必要とし、その間仕事ができないため、経済的負担に耐えられるかど



治療器具



治療器具



リハビリメニュー

帯広病院で振動病の 労災診療が開始

— 職員全体での関わりを重視しています —

うかの見極めが重要になることなどについてお話ししていただきました。さらに、労災が認められ一定期間を経た後、治療による改善が期待できない場合には症状が固定したと考えられ、労災によって得られていた傷病補償年金が打ち切られ、収入が減り生活が困難となる

場合もあることから、労災保険制度をしっかりと把握しながら療養の援助を続けていくことが重要だということもわかりました。この多職種で行った学習会や打ち合わせが実り、大きな混乱も無く労災診療が始まっています。外来のスタッフも積極的にリハビリに関わり、理学

療養室は始終にぎやかです。労災の患者さんは毎日のように顔を合わす方々です。今後も、振動病以外の慢性疾患などにも目を向け、生活背景なども含め総合的に患者さんを見ていくことを重視しながら職員全体で関わっていききたいと思っています。

【帯広病院事務課長

江口

献】

労災部屋前景

聴診器

1983年4月、法学博士・永井憲一氏と漫画家・赤塚不二夫氏が書いた『日本国憲法』

「憲法9条にノーベル平和賞を」と神奈川県主婦がネットで呼びかけた。地元の9条の会など協力者が次々と現れ、2万5千の署名とともにノーベル委員会に推薦。この4月に平和賞候補にエントリーされた。「9条を堅持し、70年近く戦争をしなかった日本国民の受賞に意味がある。みんなが候補として平和を考えるきっかけになれば」と受賞者を「日本国民」としているそう。子供のために平和を守りたい主婦の思いと行動に共感があつた。運動が広がった。▼安倍政権は集団的自衛権の行使容認など憲法9条を踏みじり、日本を戦争のできる国にしようとする動きを強めており、平和憲法は危機に直面している。▼今こそ平和憲法を学び活かす運動を広げよう。安倍政権の「壊憲」政策を跳ね返し、未来への責任として何としても守らなければならないものは戦後日本の柱「平和憲法」なのだ!! (K)

シリーズ

憲法があぶない



広尾町
旗手 清さん

イラク戦争に派兵された自衛隊員の命を守ったのは武器でなく「憲法九条」でした。これは事実が証明しました。

当時「集団的自衛権」が発動されていたら、米軍の指揮下で戦死者が出ていたでしょう。そして天皇でなく米国の為には戦死した「靖国第一号」として祭られたことでしょう。

安倍首相はA級戦犯容疑（中途釈放）の岸信介の孫です。憲法をひっくり返して祖父の「汚名」を無くしたいのです。

「広尾九条の会」の呼びかけ人の里瀬勝さんは、満州で兵役に就きソ連軍と戦い、麻山で開拓民の集団自決（ハタホ開拓団421人死亡。その中で広尾・音更の鈴木幸子さん生存）に遭遇し、シベリア抑留という壮絶

な戦争体験者です。

広尾町にはノモンハン戦や、沖縄戦の体験者もあり、広尾も空襲（7・15）を受けています。戦争の記憶を後世に引き継ぐことも、九条の会の役割と思っています。

先日九条の会や、憲法記念日の土曜日の渋谷乃さん（おとの・小四）の憲法前文の暗誦に感動しました。私も挑戦しマスタートしました。アタマの体操を兼ね毎日唱えています。

前文の一語一句、これは平和・人権・民主主義の凝縮した「人類普遍の原理法則」であり、アメリカ独立宣言、フランス人権宣言に並ぶものであると思えました。【広尾九条の会 旗手 清】

A氏（60代女性）は糖尿病で通院が必要な状況でしたが、経済的困難を抱え中断していました。無料低額診療を利用していたが、治療を開始しましたが、中断してしまう状況が続きました。ある日、足の違和感を感じ受診。糖尿病の悪化と足に潰瘍ができていたため入院となりました。入院中もどこか落ち着かない様子や病室がわからないなどの行動が見られました。60代と若かったため、私たちも気が付くのが遅くなりましたが、認知症があり、自分の病気の状況や薬が飲めないことなどがわかりました。また、同居の夫は80代と高齢（年相応の認知症あり）で夫婦二人暮らしの方でした。退院後は外来でも気になる患者として訪問に行ったり、カンフ

医療・介護の現場から シリーズ⑤③

代とあわせても利用できるだけのお金がなく、貯金を切り崩しながら何とか生活している状況でした。

アレンスを行い、介護保険サービスなどの利用を検討しましたが年金額が少なく、日雇いのバイト

無料低額診療の面談を行い、本人の生活状況や経済状況を把握しながら週1回受診に来ていただいていたのですが、所持金も少なくなり今のままでは生活していくことができないと判断しました。近隣に住む兄弟や遠方の息子さんとも相談し生活保護申請を行うこととなりました。

申請に同行し、A氏の代わりに現在の生活状況等を代弁し、無事生活保護が開始となりました。

今後は本人の気持ちに寄り添いながら介護保険サービスを導入して行く予定です。今回で無料低額診療は終了となつてしまいましたが、今後も関わりが切れないよう見守っていききたいと思っています。

【帯広病院事務 福田 源生】

輝け！いのち ヒューマンチェーンに参加して

帯広病院事務 眞田 亜耶

4月23日から24日にかけて東京の日比谷野外音楽堂で開催された「輝け！いのち4.24ヒューマンチェーン」行動集会に参加してきました。

1日目の4月23日は、学習会として参議院議員会館にて講演を聞きまし。はじめに紙智子さんよりオバマ大統領来日に関して、TPP問題などについての国会情勢報告を聞くことができました。

そのあとに寺尾正之さんより「医療・

介護総合法案：患者の負担で安上がりの医療・介護に」をテーマに、主に医療分野に関わる部分の講演と、勝田登志子さんより「介護保険を後退させないで」をテーマに、介護分野に関わる部分の講演の2つの学習講演を受けました。意見交流もあり、これからの日本の社会保障に対する不安の声や、消費税を増税したにもかかわらず、制度改悪へと進んでいる現状に不満の声が上がりました。

2日目は、午前国会傍聴を行い、ヒューマンチェーン行動集会に参加しました。集会には全国から約5000人もの参

加者が集いました。

この2日間を通して、自分達が知らないところで医療・介護のことや、その他色々な分野において議論が進み、それが悪い方向へ進んでしまっている現状があることを知り、また、議論が進められる委員会においては、議員の方が集まらないため中止となることもあると聞き、そのような状況下でこれからの日本について、私たち1人1人に関わってくる大切な話し合いが行われていることに不安を感じました。学習講演を聞いて現状を知れば知るほど、自分の将来を考えるだけで

も、この先どうなってしまうのか心配に思いました。また、これからの未来を決める議員を選ぶために、1票を大切に、選挙に行こうと感じました。今回の集会において、考えさせられることがたくさんあり、学習することができた2日間でした。貴重な経験ができたと感じています。ありがとうございました。

第25回 十勝健康まつりのお知らせ

と き 6月15日（日） 午前10時～午後2時

と ころ ドリームタウン白樺（ケアセンター白樺横）

主催：十勝健康まつり実行委員会
（事務局21-4144）

入場無料

あなたと医療をつなぐ月刊誌

MIN-IREN
いつでも元気 6 2014 月号380円

巻頭エッセイ／特定秘密保護法を廃止に 青木 理

元気スペシャル 事故から3年

福島第1原発の内部へ 山本宗補

特集1 どうなる？介護保険

かつてない大改悪ねらう安倍政権

特集2 頻尿・尿もれ 内田 潤二

食と健康 腸活のハダキから LDLコレステロールが高い人の食事

発行＝帯広健康医療研究 平113-0034 帯広市文芸区東島2-4-4 平和と労働センター6階 電話 03(5842)5656(代表) FAX 03(5842)5657



診療技術部の部屋

あなたの骨はお元気ですか？

白樺医院 診療放射線技師
主任 松田 裕樹



白樺医院には一般撮影装置（主に胸部や骨などの撮影をします）とCT（断層撮影ができます）があります。帯広病院にはこの他に胃や腸のバリウム検査などができるTV透視の装置があります。胃や腸の検査は内視鏡でもできますので、白樺医院でも全身気になるところの検査ができます。実は柳町医院もほぼ同じ充実っぷりなので十勝勤

今月は白樺医院のレントゲン室をご紹介しますと思います。

医協ではどの院所でも全身の検査ができるというところになりま。ただ一つ白樺医院が他と違うところは、一般撮影装置が昔ながらのフィルムを現像液や定着液につけて乾燥させて写真を作っていることです。と言っても撮影したフィルムを機械に入れると自動で現像してくれるのでなんら難しいわけではないのですが、この方法だと撮影から現像までに加工がいつさいできないので撮影時にちょっとした緊張がはしります。写真が現像されてきてこの目で見るまで安心はできません。簡単に言うとデジタルカメラとフィルムを入れるカメラの様な違いです。デジタルカメラですと撮影した後に明るくしたり大きくしたりプリンタ



ーで何枚も印刷したりパソコンで保管したりとやりたい放題できますが、

レントゲンフィルムの方はネガもないので焼き増しも加工もできません。一品ものですね。（コピーフィルムというのを使うとコピーできますが在庫がないので）

帯広病院も柳町医院も十年以上前からデジタル化していますが白樺医院はアナログ生活が変わりそうになります。そろそろ更新を考えてほしいと実は思っています。でも良い条件で撮れた時の写真は綺麗ですね。デジタルのザラザラ感がなく骨本来の美しさが撮れて良い写真撮ったなと充実感が得られます。長くてもあと数年でアナログ撮影は無くなるといいますので、帯広市内の方は白樺医院に来て特定健診の胸部写真など撮影していかれてはいかがでしょう。帯広市外の方も友の会健診でぜひお越しください。お待ちしております。

白樺デイサービスセンター ほのかの1日を 紹介します

白樺デイサービスセンターほのかは、2009年2月に開所し今年で6年目になります。1日の定員は20名で、1日平均16名の方が利用されています。

10分程の体操を行います。午前中は入浴の順番を待っている間貼り絵や塗り絵、折り紙等の手作業や歌を唄われる方、オセロや将棋をされる方と様々です。

午後からは、トランプやカルタ等のテーブルゲーム、カラオケ等をした後集団体操とレクリエーションを行います。集団

1日の流れは、まずデイに到着してから血圧・脈拍・体温測定をし体調確認を行います。その後出席確認・日付の確認、

午後からは、トランプやカルタ等のテーブルゲーム、カラオケ等をした後集団体操とレクリエーションを行います。集団

室内行事にも力を入れており、毎月おやつ作りを行い、季節に合わせて流しソーメン・クリスマス会・もちつき大会を今年も予定しています。

おやつ作りの様子



レクの様子



外出レク（紅葉狩り）

今後利用者さんが在宅生活を続けられるよう、交流や手作業、体操を通して機能維持が出来るように支援していきます。

【白樺デイサービスセンターほのか
介護主任 山上 登】

デイサービスすずらん みんな 買い物に行こう

デイサービスすずらんでは、5月12日から一週間にかけて、音更町の木

野市街にできた商業施設に買い物レクリエーションに行ってきました。

主にダイイチでの買い物になりましたが、同敷地内にはホームマックや衣料品店等の様々な施設が並んでいます。

買い物では、何年も自分で商品を選んで買うことができなかった方も参加し、「自分で見て買い物ができるように楽しかった」と終始笑顔で

話されており、とても満足できる買い物できた様子が見られました。

高齢になると思うように買い物ができる無きことでもストレスとなったり、

社会との関係が少なくなります。デイサービスでは、外出レクリエーションをする事で様々な希望や楽しみにつながるよう毎月実施しています。これからも多くの方々に楽しんで頂き、生活をして頂ける様に支援していきます。

【デイサービスすずらん

介護主任 本田 雅和】

